

小1国語 出題のねらいと対策

1 かんじのかきとり 80.7%

ねらい：漢数字の正しい書き方についての知識を問う。

分析と対策：漢字を覚えるときは、筆順などもあわせて覚えさせてください。

2 ことばのきまり 96.7%

ねらい：助詞の正しい使い方についての知識を問う。

分析と対策：助詞の問題です。助詞は、他のものになると文意が通らなくなったり、文全体の意味が変わったりすることがあるため、非常に重要な要素です。どんなときにどんな助詞を使うかをよく考えさせてください。

3 カタカナ 65.6%

ねらい：カタカナの正しい使い方についての知識を問う。

分析と対策：カタカナで書くことばと、ひらがなで書くことばを見分け、正しいカタカナで書く問題です。外来語はカタカナで書くということや、「パ」と「ぱ」などの形の違いなどを理解させてください。

4 ことば 92.5%

ねらい：様子を表すことばについての知識を問う。

分析と対策：形容詞の問題です。「何が(何は)－どんなだ」という文の形を確認しましょう。また、「よわい」「くらい」などの状態を表すことばのほか、「やさしい」といった性質などを表す形容詞があるということも確認してください。さらに、「よわい⇔つよい」

「くらい⇔あかるい」のような対義語についてもふれておくと、ことばの学習に広がりが出ます。

5 文をつくる 95.0%

ねらい：基本的な文を完成させる力を問う。

分析と対策：目的語などのあとに続ける文末を考えさせます。「こぼれたみずをふく」という文は、文末の「ます」につながるように「ふき(ます)」と変化することに注意しましょう。

6 文しょうをよむ 41.0%

ねらい：登場人物の心情や文章の細部を読み取る力を確認しながら、文章の内容を問う。

分析と対策：保育園からの帰路、次々に実やきのこを取ろうとするふうこと、取らないようお願いする実やきのこたちとの会話の場面を描いた物語です。ふうこの会話や行動を通して、登場するものの心情や、ふうこの人物像などを読み取ります。(1)は場面、(2)は心情の問題です。前後をよく読み取り答えましょう。(3)(4)は、登場人物の行動やその理由について記述する問題です。条件に合うように注意しましょう。(5)は、植物や風にまつわる表現などから、季節感をつかみましょう。(6)は、本文全体の内容を通して登場人物の人物像を問う問題です。選択肢の内容と本文の内容をきちんと照合するようにしましょう。

全体の平均点は 73.3点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。